

小森神社には春日神社に「春日神社御霊」と「御輿分身」が見えます。

◎天津兒屋根命

天津神とは、日光・空気・雨など空からいろいろなお恵み、天のエネルギーをくださる神様です。

◎武甕槌神

ふつねしのかみ

◎経津主神

二人の神様は武術にすぐれた国津神です。国津神とは地の底からのエネルギーで、土地、水、川、海などに豊かな恵みをもたらし、生き物を生かしてくださる神様です。子孫繁栄を礼拝します。

一方、蔵王神社（昔は蔵王権現堂）には

つはやさんれいしん

◎津速産霊神

ほとけさま

ぶつぞう

佛様の二体の佛像がございます。

「蔵王権現」様

奈良吉野の金峯山寺蔵王堂の本尊です。修験道の開祖、役行者が、感得したと伝える尊像

です。魔障降伏の菩薩として礼拝します。

形姿は髪を逆立てた忿怒相をして、鉦杵を右手に振り、左手には剣印を結んで腰に、左足

で磐石を踏みつけ、右足は高く踏みあげている。十世紀末に全国に広まりました。

(金峯山寺・誌)

「阿弥陀如来」様

せいぼうごくらくじょうど

むりようこうによらい

むりようじゆによらい

西方極樂浄土の教主。無量光如来とも無量寿如来ともよばれています。

アミとは量ることができない無量、無限の意味で、この如来の光は無量で十方の國を照らす無

じゅうほう

量光、無量寿といえます。

(佛敎誌)

形姿は目をつむり、両手で定印を結んで座る、禪のすがたです。藤原・鎌倉時代に多く祀られ

まつ

ました。

阿弥陀様は「人の心の安らぎを求めよ。」と無の世界を悟るようと、只今も説教しながら祈つ

ていただいております。

(佛像誌)

佛・菩薩を本地佛、日本の神々とその仮の現れ(権現)とする考えを、本地垂迹説といわ

ほんちすいじやくせつ

ます。奈良時代、神佛習合の考えが盛行しました。

しんぶつじゆうごう

せいこう

神社の祭神に熊野・白山・春日・日吉に、垂迹曼荼羅が多くみられています。

ひえ

すいじやくまんだら

(神社誌)(佛像誌)

註記……以上の神様、ご神像はいつの時代に「上小森の村びと」達がもとめて安置したかは不詳です。

福井県神社庁の台帳には

創立、春日^ニ寛弘二年月十七日

藏王^ニ寛弘四年八月廿四日

〔寛弘四年は西暦一〇〇七年〕とあります。

あまてらすすめのおおかみ みたま

天照皇大神の御神霊

ほうあんてん かみ

元、大石村より預かつた奉安殿の祭神。伊勢の内宮さままで、皇室の親祖神。全国の神々の総氏

おやがみ

おのみやのかみ

神で日本国民の大御祖神。

ごしんとく

御神徳は天井天下をあまねく光り照らされ、地上のあらゆるものに御光（おかけ）を投げかけて

みひかり

おかけ

います。つまり総てのものは神の恵みと祖先の御蔭によって生かされているので、お互いが助け合い譲り合つてこそ、この世は明るく楽しいのである、と教えています。（県神社誌）

平成十八年八月三十一日

〔記責 総代 中嶋憲二〕

補足^ニ阿弥陀如来の背書^々……………清水丹後守

^ニ御神鏡……………天下一藤原義信

とありますが未調査です。